

平成25年度（通期） 指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課：教育委員会事務局 生涯学習 部 図書館

1. 基本情報

1501

施設名	伊丹市立図書館南分館		
施設の設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資する。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標：未来を担う人が育つまち 施策目標：ライフステージごとに学び活躍する人づくり 主要施策：生涯にわたる主体的な学習の支援		
指定管理者の名称	公益財団法人 伊丹市文化振興財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館(いたみホール)内		
選定方法(公募・非公募)及び指定期間	非公募	平成 21年 4月 1日 ~ 平成 26年 3月 31日	
管理運営上の目標 (管理運営を行う上での指定管理者の具体的目標)	指標名	貸出冊数 (単位: 冊)	
	指標の意味	年間の延べ貸出冊数	
	今年度の目標値	360,000	今年度の実績値 377,344

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17	H21	H22	H23	H24	H25(上期)	H25(通期)
	来館者数(人)	153,179	149,047	154,672	156,894	159,794	77,764	149,995
講座開催回数(回)	36	81	92	97	90	45	92	
講座参加者数(人)	1,071	1,723	4,731	2,167	2,069	958	1,951	
貸出冊数	259,651	305,365	334,695	360,214	385,783	194,663	377,344	

H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 管理経費等

平成25年度指定管理者の収支状況 <単位:千円>	計画(通期)		実績(通期)	
	<収入の部>		<収入の部>	
	指定管理委託料	31,734	指定管理委託料	31,734
	その他(コピー収入)	50	その他(コピー収入)	38
	合計	31,784	合計	31,772
	<支出の部>		<支出の部>	
	人件費	30,120	人件費	31,234
	維持管理経費	195	維持管理経費	198
	事業等経費	1,469	事業等経費	1,432
	その他		その他	
合計	31,784	合計	32,864	
<収支差>		<収支差>		
収入合計 - 支出合計	0	収入合計 - 支出合計	-1,092	

施設の管理運営に係る実質経費(市の負担) <単位:千円>		H21	H22	H23	H24	H25	H26
	市の収入	0	0	0	0	0	-
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	-
	市の支出	38,008	38,324	38,423	38,193	38,734	-
	(内、指定管理委託料)	31,008	31,324	31,423	31,193	31,734	-
実質経費(歳出 - 歳入)	38,008	38,324	38,423	38,193	38,734	-	

施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理 体制等 に関する 事項	維持管理業務 の実施状況	館内の清掃を定期的の実施し、常に清潔に保たれているか。	A	開館から20年以上が経過し、老朽化による施設・設備機器の劣化が見られるが、利用者の利便性と費用対効果もよく考慮しながら臨機応変に対応している。	A	協定書・仕様書に基づき、適切な管理業務を行い、施設の老朽化対策にもしっかり対応している。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	A			
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B			
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B			
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B			
	職員配置などの 実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	職員を適材適所に配置しスムーズな運営を心がけているほか、有用な研修には可能な限り参加している。	B	有用な研修に参加し、職員の資質向上や能力啓発に努めている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	A			
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B			
		緊急時の連絡体制は整っているか。	B			
		避難訓練を実施しているか。	B			
防犯・防災対策への 取組状況	ラスタホール全館での防災訓練を年2回実施しており、図書館職員も毎回参加している。	B	ラスタホール全館での防災訓練を年2回実施しており、図書館職員も毎回参加している。	B	防犯・防災に速やかに対応できる体制を整えている。	
		B				
運営等 に関する 項目	サービス向上への 取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	利用者からのご意見やトラブルについては十分に検討し、対応可能なものは迅速に取り組んでいる。また、多彩な行事を企画・運営し、利用者増に努めている。	A	利用者サービスの向上に向け、地域に合った行事の企画・運営に取り組んでいる。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B			
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B			
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B			
	事業等の実施 状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	新規および継続事業とも充実を図るとともに、参加者目線も取り入れた効果的な事業展開を行っている。	A	既存事業の充実や新規事業の実施など、魅力的な事業展開に取り組んでいる。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A			
	個人情報保護・情報公開への 取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	個人情報保護については特リ運用基準を遵守し、読書案内やチラシ、市広報紙、ホームページのほか、他施設との連携を通して会館情報を幅広く発信している。	B	財団発行の無料情報誌を活用して、新規事業に関する情報を積極的にPRしている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B			
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A			
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	予算の範囲内で適正に行っている。	B	収支計画に基づき、適正に行っている。
経理処理は、適切に行っているか。		B				

「評価」欄の記号の意味

「A」= 協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「C」= 協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」= 協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「-」= 当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	年間の利用状況では前年比で貸出冊数がやや減少しているものの、この5年間で高い水準であり、目標値も大きく上回っている。また、事業面では、既存事業の充実や新規事業「ほっかご図書館くらぶ」の開催といった魅力的な事業に取り組むなど評価できる内容であり、市が期待する管理者としての責務を果たしている。
総合評価	B

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」= 管理運営が非常に優れていると認められる。

「B」= 管理運営が適正であると認められる。

「A」= 管理運営が優れていると認められる。

「C」= 管理運営が改善を要する水準である。

利用者満足度調査(アンケート)結果と対応 【実施期間】平成26年3月1日 ~ 平成26年3月31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	・本の貸出、予約等について 「大変満足」40% 「やや満足」50%	誰もが利用しやすい図書館を目指し、今後もサービス向上に取り組んでいく。
回答者数	・講座やおはなし会など行事について 「大変満足」8% 「やや満足」85%	多くの方に満足いただけるよう、参加者のニーズをさらに取り入れながら行事の実施を図っていく。
111	(自由記述) ・本探しが分かりやすく順序立てるようにしてほしい。	図書の配列場所については、より探しやすくなるような館内掲示に努める。

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
特になし	